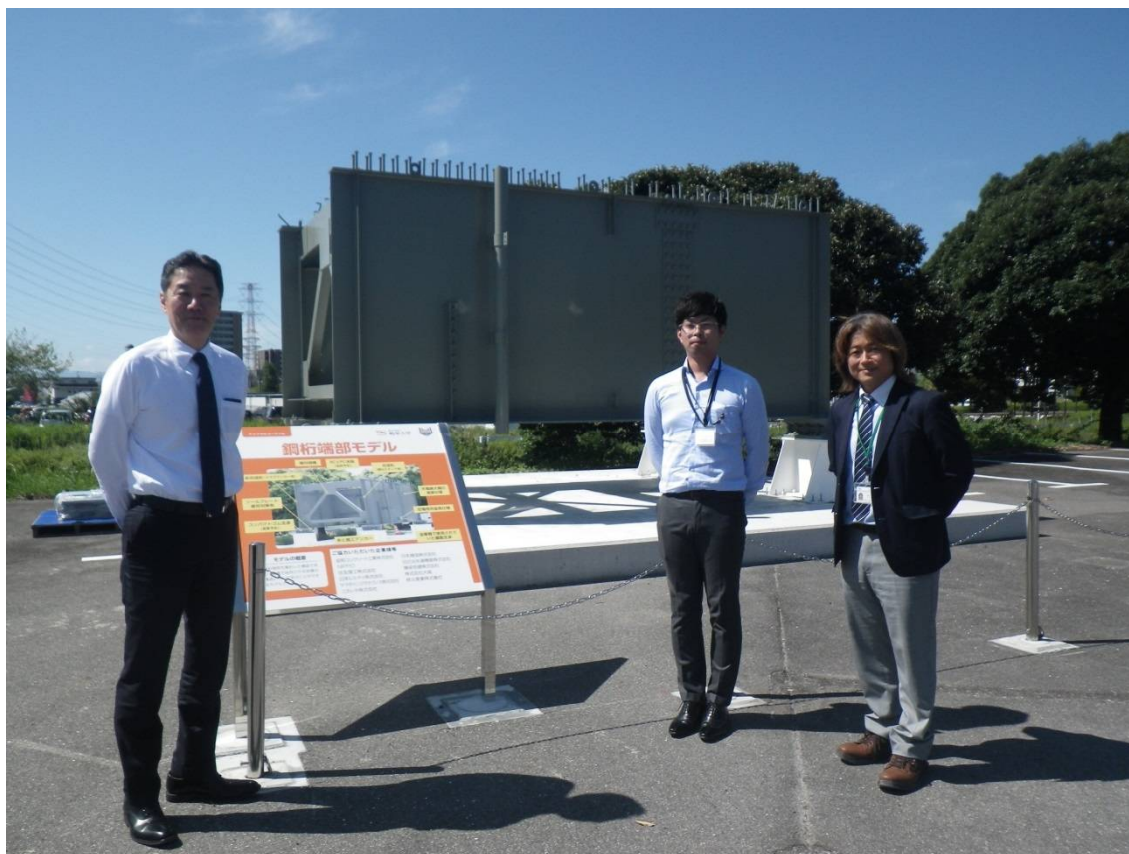


## 「岐阜大学インフラミュージアム」鋼桁端部モデルを設計・製作致しました。

岐阜大学が進められている「使いたくなる SIP 維持管理技術の ME ネットワークによる実装」の一環として構造物の維持管理技術者の育成を目的とした構造モデル【インフラミュージアム】のうち鋼桁のメンテナンス及び設計思想を学習できる「鋼桁端部モデル」を設計・製作致しました。

「新しい構造形式」と「現在の維持管理対象の主である古い構造形式」を1つのモデルに盛り込むことをコンセプトに主桁における合成桁と非合成桁の構造の違いや塗装仕様の各層可視化、非破壊試験練習用溶接構造など維持管理において実用的なモデルを構築致しました。

皆様 岐阜大学にお立ち寄りの際は、是非近くでご覧になってください。



瀧上品義社長

櫻井課員

松村 GL